

令和5年度 日本生化学会 関東支部例会 開催報告

例会長 山梨大学医学部 生化学講座第一教室
大塚 稔久

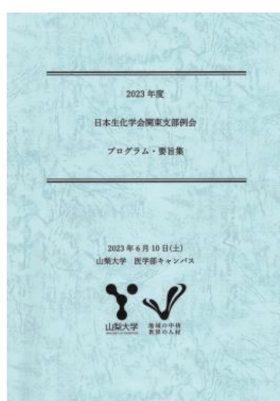
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、本年6月10日に開催いたしました令和5年度日本生化学会関東支部例会につきましてご報告申し上げます。

本例会は、『ぶらり生化学の旅～分子から個体まで～』をテーマに掲げ、164名の参加者（一般68名、学生96名）を迎え、口頭発表41演題、ポスター発表38演題の発表が行われました。質問も活況で、それぞれの発表者にとって有意義な討論が行われました。特別講演においては、それぞれの分野で目覚ましい研究成果を挙げている尾藤先生および今泉先生のご発表に多くの参加者が熱心に耳を傾けました。

閉会後は実に4年ぶりとなる懇親会が開催され、参加者の半数近くが出席いたしました。発表者、質疑者という立場から離れ、肩の力を抜いて自由に交流・議論できたことと思います。このように本例会は成功裏に閉会となりました。

この場をお借りして、山梨大学医学会様よりいただきました学会助成金に心より感謝申し上げます。

例会ホームページ：<https://www.biochem-kanto.jp/reikai2023/>



当日の様子

